

3月5日(日)からの

休日・夜間・緊急時の診療はこちらへ

三鷹市休日・夜間 診療所・薬局

☎健康推進課 ☎0422-24-8050

◆所在地 新川6-35-28 (新しい施設に移転しました)

① 休日診療所 (内科・小児科)	☎0422-24-6540	日曜日、祝日・ 年末年始	午前10時～11時45分、 午後1時～4時30分、 6時～9時30分
② 小児初期救急 平日準夜間診療所 (こども救急みたか)		平日	午後7時30分～10時30分 (受付は10時まで)
③ 休日歯科応急診療所	☎0422-46-3234	日曜日、祝日・ 年末年始	午前10時～午後0時15分、 1時30分～4時
④ 休日薬局	☎0422-49-7766		午前10時～午後4時30分、 6時～9時30分

発熱がある方は事前にお電話ください(③は熱の有無にかかわらず要連絡)。必ず健康保険証をお持ちください。診療可能な患者数に限りがあるため、やむを得ず緊急度の高い方を優先する場合があります。

3月13日(月)から
マスク着用の考え方が
変わります

☎健康推進課 ☎0422-24-8050

マスク着用は個人の判断が基本となります。ただし、重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、医療機関や高齢者施設、混雑した交通機関などは、マスクの着用が推奨されています。詳しくは、厚生労働省ホームページ(下記QRコード)をご覧ください。

※本人の意思に反してマスクの着脱を強いることのないよう、ご配慮ください。

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。

※市の施設利用・事業参加の際にマスク着用をお願いする場合があります。



新型コロナウイルスワクチン接種 最新情報

☎三鷹市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター ☎0570-026-567

12歳以上

集団接種 3～5回目接種 規模を順次縮小しています。

☎ 3月25日(土)までの金・土曜日午前9時～午後4時30分

所 元気創造プラザ1階 軽体操室

◆予約方法 ●三鷹市ワクチン接種web予約サイト(右記QRコード)

●市コールセンター ☎0570-026-567(平日午前9時～午後5時)

個別接種 1～5回目接種

所 市内の医療機関(市ホームページ(右記QRコード)参照)へ

物 本人確認書類、接種済証、接種券が印字された予診票(必要事項を事前に記入)



乳幼児
(6カ月～4歳)

小児
(5～11歳)

個別接種

所 市内の医療機関(市ホームページ(右記QRコード)参照)へ

乳幼児

小児



三鷹市に転入した方へ

転入前に新型コロナウイルスワクチンの接種を受け、次回の接種券の送付を希望する方は申請が必要です。詳しくは市ホームページをご確認ください。

(国内)

(海外)



予防接種健康被害救済制度

接種による健康被害であると厚生労働大臣が認定した場合、医療費などの給付を受けることができます。詳しくは、市ホームページをご確認ください。



オミクロン株対応ワクチンの2回目接種について

現在、国が具体的な接種内容を検討しています。国の方針や市の接種体制などについては、国の関係法令などの改正後、決定次第『広報みたか』や市ホームページでお知らせします。

ぜんそくNOGOLO 健康コラム

医療機関にはいろいろな専門科がありますが、呼吸器科を受診するきっかけになる症状としては、せき、痰(たん)、呼吸困難が最も一般的です。風邪などでもこのような症状が出ますが、普通は1～2週間程度で治ることが大半です。それ以上、特に3週間以上続く場合には、何らかの呼吸器疾患の可能性があります。頻度的には、気管支ぜんそく、慢性閉塞性肺疾患(COPD)が代表的です。両方の疾患とも、空気の通り道である気道が細くなることが症状の主な原因ですが、症状の出力にはそれぞれに特徴があります。

まず、発症する年齢ですが、気管支ぜんそくは小児から高齢者まで、症状が始める年齢はさまざまですが、COPDの場合は、ほとんどが60歳以上の高齢者です。これは、数十年以上の喫煙習慣がCOPDの原因のほとんどを占めているからです。たまたに20代、30代の方でCOPDを心配されて受診される場合がありますが、年齢から見ただけでもCOPDの可能性はほぼ否定できます。また、症状の出力ですが、ぜんそくの場合は夜間、早朝に症状が悪くなりやすいことなど、1日のうちでも症状の強さに変動があること、季節の変わり目に症状が悪くなることなどの特徴があります。

これに対してCOPDでは多少の季節的変動はありますが、慢性的に何年にもわたってせき、痰、息切れが続きます。息切れについては、ぜんそくでは基本的には発作性で、何カ月も続くのではなく、長くても数日から数週間です。また、呼吸困難には喘鳴(ぜんめい)を伴う場合がほとんどです。ぜんそくの場合、発作時には安静時でも呼吸困難、喘鳴が出ますが、COPDの安定期は、重症例を除けば呼吸困難は発作時、つまり動いたときのみで、安静時には呼吸困難がないのが普通です。

両方の疾患とも、放置すれば気道の構造変化を起こすことが知られていますので、早めに受診することが重要です。

☎三鷹市医師会 ☎0422-47-2155